

樹芸特論（2単位）

担当者氏名 濱野周泰

◆学習・教育目標

樹芸は樹木を対象として観賞と利用を最大にすることを目的とする人の生活に欠くことのできない学と術である。植物学における分類、生理、形態、生態を基礎として樹木の樹形美、色彩美、季節美を発揮させるための成長、育成、植栽、剪定、保護などの施策について講義する。また造園の営みは大地で展開される土地産業としての視点がある。樹木がもっている美性を発揮させながら生産・経済事業として展開させる術とともに、樹木が地域の景観形成へ寄与するための人の生活と文化活動についても講義する。造園の営みに不可欠な樹木について応用的視点から人との関係について論述する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

樹木	形態	生理	栽培
養生	樹木医学	環境	美の準則

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	樹芸の意義	樹木学と樹芸学、樹木と生活	講義時に資料を配布する。 講義内容を復習しておくこと。
2	樹形論と樹木美	樹木の美観、樹形分類	
3	移植と根回し	根系、断根法、溝掘法	
4	常緑樹と落葉樹の移植法配	個生態、移植時期、好適環境	
5	植と植栽の技術	樹形、テクスチャー、配列美	
6	立地と植栽地	生育地の環境、適地	
7	剪定と整姿、生垣	自然形、人工形、生育形	
8	常緑樹と落葉樹の剪定	樹形、個生態	
9	樹木の増殖（1）	実生、挿木	
10	樹木の増殖（2）	接木、株分、仕立	
11	樹木の保護と管理（1）	自然環境、養生	
12	樹木の保護と管理（2）	人為環境、樹木の健康	
13	樹木の栽培と環境	永年植物、土壌、日射、肥料	
14	樹木の育成と成長	伸長成長、肥大成長	
15	樹木と人の生活	樹木の年齢と美性	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

樹芸学叢書Ⅰ～Ⅷ / 上原敬二 / 加島書店 （1967）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

樹木学 / 濱谷稔夫 / 地球社 （2008）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

課題（レポート）50% 、試験 50%

◆その他受講上の注意事項

造園植物系の科目を学部時代に履修していることが望ましい。

講義時に参考文献・情報を紹介する。